

ビジネス科 3年D組

教 科	商 業	科目(単位)	課題研究 企業分析・金融経済講座 (2単位)
使用教科書	—		
授 業 形 態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・ 経済、金融について、2年次までに学習してきた内容を深く学ぶ。
- ・ 企業の過去の財務諸表の分析を行い、実社会の金融について学ぶ。
- ・ 金融についての学習を深め、エコノミクス甲子園への参加を目指し、学習を行う。
- ・ 証券取引について学び、生涯にわたって必要な知識を学習する。

3 学習の方法

- ・ 2年次までの学習で身につけた財務諸表分析の力を実際の企業で行う。
- ・ 過去の財務諸表の分析を行い、企業の実態や業績について考える。
- ・ 業界ごとに分析を行うことで、それぞれの比率の意味を理解する。
- ・ 金融用語などを理解し、エコノミクス甲子園などの参加を目指す。
- ・ 金融制度などを理解し、生涯にわたって必要な知識を学ぶ。
- ・ 研究テーマを設定し、自分に何ができるか、どう課題を解決するか考える。
- ・ 研究テーマに必要な教材となるものを調べる。(ノート、コンピュータ、新聞など)
- ・ グループ活動を行い、協働する。
- ・ 毎時の振り返りを行う。
- ・ 研究結果をまとめ、各自の研究成果を発表する。

4 課題・補習について

- ・ 毎時間の取り組みの計画を立て実行し、振り返る。(日誌提出)
- ・ プレゼンテーションの提出、発表、相互評価を行う。
- ・ 卒業レポートの提出を行う。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・ 特にありません。

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表分析を行うことができる。 ・ 毎回調べたことなどを日誌に記録することができる。 ・ 金融制度について知識を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表分析を行い、企業の将来に必要な手立てを考えることができる。 ・ 仮想投資を行い、シミュレーション結果に対して深く考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計コースで学んだことを活かし、研究テーマを設定し意欲的に取り組む態度を身に付けている。 ・ 金融や経済に対して、理解を深めようとし、グループ内で積極的に発言することができる。 ・ 研究テーマでまとめたことを積極的に発表することができる。

ビジネス科 3年D組

教 科	商 業	科目(単位)	課題研究 企業分析・金融経済講座 (2単位)
-----	-----	--------	------------------------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4 5	【個人研究】 ・財務諸表分析を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表分析を行う。 ・どの比率に着目するか考え、課題を見つける。 ・解決方法を探る。 ・企業についての将来性を考察する。 	行動観察 日誌
6	・金融制度を研究する。	<ul style="list-style-type: none"> ・金融制度について学び、仮想的に投資を行う。 ・新NISAなどの制度について学習する。 ・仮想投資を行い、シミュレーションを作成する。 ・個々に調べたことをプレゼンや資料としてまとめる。 	行動観察 日誌
7	・中間報告		日誌
8 9	【グループ研究】 ・エコノミクス甲子園を目指して学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な物を揃え、学習する。 ・グループで協働して課題解決を探る。 ・これまでのグループの活動をまとめる。 	行動観察 日誌
10 11	・エコノミクス甲子園を目指して学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・金融・経済の用語などをまとめる。 	行動観察 日誌
12	・研究の成果・完成 ・研究成果発表	<ul style="list-style-type: none"> ・研究結果をまとめる。 ・研究発表を行う。 ・学習した内容を踏まえ、大会に参加する。 ・発表を終えての反省を行い、来年度への引き継ぎを行う。 	行動観察 発表評価
1 2	・卒業レポート完成 ・課題研究発表会		日誌 レポート